

2024年度委員会 第五期スタート

サブテーマ ～とどけよう ナンマンダブ～



9月の奥能登豪雨災害をはじめ、全国各地に及ぶ災害により、被災された多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。

2024年度真宗大谷派大谷婦人会の委員会が7月に開催されました。宗派の所属団体となり5期目をむかえ委員改選が行われました。各ブロックから新たな顔ぶれも加わった中、正副委員長と常任委員5名が選出されました。

このたび、委員長を務めることになりました岡崎教区西園寺支部の本多恭代と申します。私は24年前支部長となり、大谷婦人会の行事に参加し聞法させていただくことにより、全国の多くの先輩方に出会うことができました。そして、ともに聴聞し語り合う中で色々なことに気づかされ、学ぶことができた貴重なご縁をいただきましたこと、感謝申し上げます。また、「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業」の一つとして記念誌の発行に編集委員長として携わらせていただきました。大谷婦人会が明治23年創立か

ら130年を迎えるにあたり、さまざまな困難な時代を乗り越えられた先達の尊い歩みに触れ、現代に生きる私たちに「とどけよう ナンマンダブ」の願いが、手渡されてきたことを確認する時間となりました。これからも、皆様とともに歩みを続けたいと思います。

さて、現代では2020年から始まった「新型コロナウイルス感染症」の拡大、2024年1月に「能登半島地震」、9月には「奥能登豪雨災害」、全国各地に災害が起こることにより、あたりまえであった日常生活が大きく変わってまいりました。しかし、このような時代であればこそ会員皆さまのお声を聴きながら、先達の思いが受け継がれた聞法活動にさまざまな形で、多くの人たちが参加できるよう取り組んでまいる所存です。さらにお念仏のみ教えをいただいた喜びが次の世代の人たちに手渡されることを願っております。

3年間、どうぞよろしくお願いたします。

大谷婦人会委員長 本多恭代

第5期委員【2024~2026年度】

東日本	竹内 亮子 足利 恵 藤原訟姫恵 小川 和子	東海	鴻巣 幸子 石神 秀子 本多 恭代 伊勢 順子 大矢 泰子 関山 秀美 佐々木三千世
北陸北部	安宅 詔子 大窪 洋子 橘 弘子 壘昇 恭子	西日本	棕田 美貴 浅井 温子 村上奈津子 慈 浩二 後藤 園子 近藤由美子
北陸南部	照岡 高嶺 中野 瑞子 吉藤 佳子 田中 豊子 北村美智子 滋野井京子 龍山 千夏		



(後列 左から)

常任委員 照岡 高嶺 / 常任委員 関山 秀美 / 常任委員 安宅 詔子

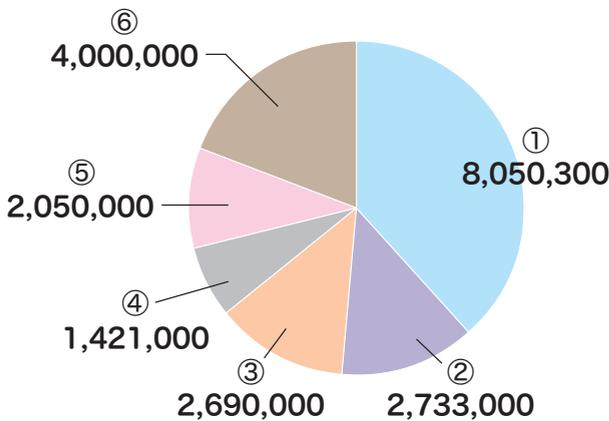
(前列 左から)

常任委員 村上奈津子 / 副委員長 滋野井京子 / 委員長 本多 恭代 / 常任委員 藤原訟姫恵

慶讃事業特別会計決算報告

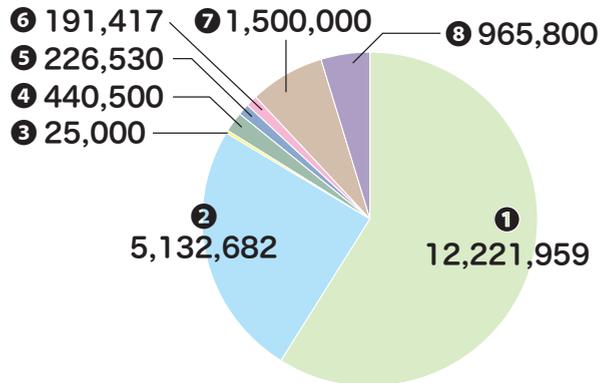
期間：2020年7月1日～2024年6月30日

収入総額 20,944,300 円



①支部協力金 ②参加冥加金 ③交流会冥加金
④諸懇志 ⑤宗派助成金 ⑥回付受金

支出総額 20,703,888 円



①全国大会費(3年分 2023年度は慶讃法要)
②記念誌発行費 ③記録費 ④参加助成 ⑤諸費
⑥予備費 ⑦回付金 ⑧寄贈品費

2024年度の主な事業

「とどけよう ナンマンダブ」をあらためてサブテーマとし、昨年度からの試みである日帰りの研修事業の反省点を踏まえ、お念仏の教えを次世代に引き継いでいくため、間法研修事業を行います。

2024年

秋季永代経法要 2024年度全国支部長・役員研修会

開催日 9月18日(水)
会場 しんらん交流館
講師 花山孝介氏
冥加金 3,000円



今回ご講師に、「ひとつことを聞く」という講題でお話しをいただきました。

「信心をいただいたうえには、同じ一つのことを聞いても、いつも清新で初めて聞くように思われるはずである。多くの者は、とかく目新しい事を聞きたいと思うものだが、これは心がないためである。ただ一つのことを何度も繰り返し聴聞しても、いつも清新に、初めて耳にするように聞かなければならない(『現代の聖典・蓮如上人御一代記聞書』法蔵館より)」先生の資料の言葉です。あらためて大切な事に気づかされ、「仏法とは感じるもの。知識ではない」と話されました。

班別座談では、57名が5班に分かれて活発な意見がかわされました。会員の門徒さんと寺にかかわる者とが、同座して本音の話し合いができ、次回もお会いできるようにと願いつつ終了となりました。

有功章受章者茶会

開催日 10月23日(水)
会場 しんらん交流館(茶室)
冥加金 5,000円(対象者)

2025年

すみれ会(第8回) Zoom開催

開催日 2月27日(木)
会場 しんらん交流館
講師 酒井義一氏

物故会員追弔法要・ 春季永代経法要・ 2024年度全国大会

開催日 4月25日(金)
会場 しんらん交流館
講師 佐野明弘氏
冥加金 3,000円

第74回 北陸地区間法会

開催日 5月15日(木)
会場 ANAクラウンプラザ
ホテル金沢
講師 四衝亮氏
冥加金 5,000円

第74回 東海・近畿地区間法会

開催日 6月18日(水)
会場 名古屋ガーデンパレス
講師 佐賀枝夏文氏
冥加金 5,000円

間法研修会で
お会いしましょう



<新刊書>



やさしい法話シリーズ NO.26

『親鸞 今も生きてはたらく人』

酒井 義一 (東京教区東京5組存明寺住職)

このたび2024年12月に発行されますこちらの
新刊は、2024年3月に開催された「第7回すみれ会」における酒井義一先生のお話を抄録したものです。

大谷婦人会の会員をはじめ、多くの方々に
味読いただきますことを心より念じております。

大谷婦人会事務局

お求めは、大谷婦人会事務局までご連絡ください。電話：075-371-6181



2023年度事業報告



新型コロナウイルス感染症が五類となり、休止していた研修会も再開の運びとなりました。しかしながら、従来宿泊を伴っていた「全国支部長・役員研修会」「北陸地区間法会」「東海・近畿地区間法会」は、まずは日帰りでの開催としました。その結果、参加者の心配や不安が解消され多くの参加がありました。



秋季永代経法要

2023年度全国支部長・役員研修会

開催日 2023年9月14日(木)
会場 しんらん交流館
講師 渡邊 愛子氏
講題 「恵信尼消息に
であって」

元京都光華女子大学非常勤講師、仏典童話作家の渡邊愛子師をご講師に「恵信尼消息にであって」という講題でお話をいただきました。先生は、女性の目線に立って説明されました。著書に「仏典童話I」「仏典童話II」(いずれも東本願寺出版)などがあり会場にて購入される方も好評でした。参加者71名6班に分かれてお互いの意見を発表して、なごやかな研修会になりました。

日帰りの間法会でしたが、充実した開催となりました



すみれ会(第7回)

開催日 2024年3月7日(木) 講師 酒井 義一氏
会場 しんらん交流館 講題 「親鸞
今も生きてはたらく人」

お忙しい方も
自宅から
参加できますよ



今年度は、対面およびWEB会議ツール「Zoom」を使用するハイブリッド形式で、全国各地から対面10名・Zoom7名の参加がありました。Zoom参加者の中には、1月に発生した能登半島地震で被災された2名の方がいらっしゃいました。

座談会では、酒井先生のおはなしを通して、それぞれの生活環境・人生経験の違う中から、気づいた事や悩んでいる事などの意見を交換しました。そして能登の参加者から「今まで経験したことのない、不安で先の見えない状況の中であっても、仏さまだけはいつも見守って下さっていることがわかりました」と、前向きで貴重な意見をいただき皆さんと共有することができました。あらためて法話を聞くだけでなく、その後の座談の大切さを確認する、意義ある会となりました。



物故会員追弔法要・春季永代経法要 2023年度全国大会

能登教区の支部の
参加者へは参加助成を
させていただきました

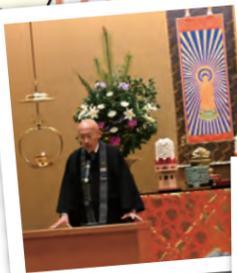


開催日 2024年4月25日(木)
会場 しんらん交流館
烏丸京都ホテル
講師 木越 康氏
講題 「PURE LAND
BUDDHISMに憶う」

年始におこった能登半島地震は大谷婦人会の多くの支部に被害をもたらしました。全国大会も開催すべきか悩みましたが、被災地の会員より「こんな時だからこそ間法の場を」とのお声に促され開催させていただきました。能登の会員11名を含め174名の参加がありました。

物故会員追弔法要と春季永代経法要が音楽法要にて勤まりました。その後、木越康大谷大学教授に記念法話をいただきました。アメリカ(パークレイ)の真宗寺院の活動を映像を交え紹介してくださいました。宗教活動と文化活動が一体となり、お寺に多くの人たちが集う様子が驚かされました。

からすま京都ホテルで行われた交流会では、能登の被災地より珠洲焼作家の篠原氏に来ていただき被災状況をお聞きました。最後に「皆さん、能登に来て、能登を見て、人と会ってください」と締めくくられました。



第73回 北陸地区間法会

開催日 2024年5月16日(木)
会場 ANAクラウン
プラザホテル金沢
講師 佐賀枝 夏文氏
講題 「人生の物語
～大いなる「はたらき」
に導かれて～」

コロナウイルスや慶讃法要のため中止されていた地区間法会が5年ぶりに再開されました。

能登半島地震の影響を受けた地でもあり開催すべきかを思案しましたが、間法の機会を大切にしたいという願いをうけ、日帰りでの実施したところ307名もの参加をいただきました。避難生活を送られている能登の支部からもバスを仕立てての参加があり、無事なお姿の再会に喜び励まし合いました。

佐賀枝先生は、ご自身の人生を「起承転結」になぞらえ、優しい口調で語りかけてくださいました。



第73回 東海・近畿地区間法会

お友達をさそって
参加しましょう

開催日 2024年6月18日(火)
会場 ホテル名古屋
ガーデンパレス
講師 四衝 亮氏
講題 「真宗の信心」

4年ぶりに、「東海・近畿地区間法会」が日帰りでの開催となりました。

名古屋駅近くの会場ということもあり、各地から92名の参加がありました。地区間法会を心待ちにしていた方や、日帰りならばと初めて参加された方々と共に、四衝先生による浄土真宗で大切な信心についてのお話を聴聞いたしました。短い時間ではありましたが、初めての試みでの間法会が無事開催出来ましたことは、参加者の皆さまのご協力のお陰と感謝いたします。今後も間法の輪が広がることを願っています。



皆さんの
食事も
楽しかった



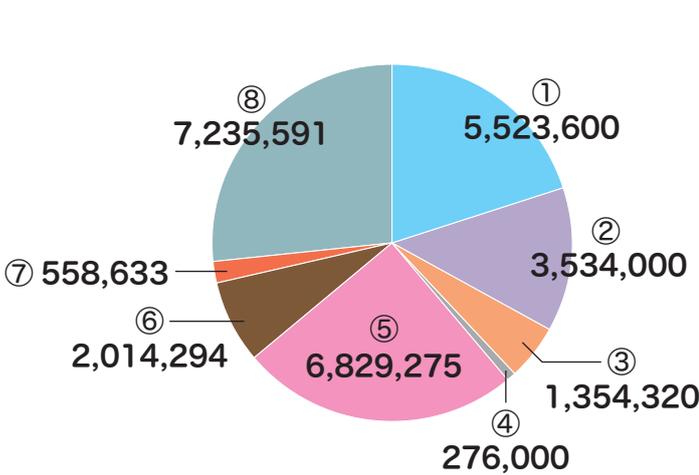
2024年度委員会報告

2024年7月24日しんらん交流館大谷ホールにおいて、全国の28名の委員のうち22名が出席し、2023年度間法研修事業報告・収支決算、真宗大谷派大谷婦人会慶讃事業報告・特別会計収支決算(宗派への記念品寄贈・記念誌発行)および役員選出並びに2024年度間法研修事業計画(案)・収支予算(案)、真宗大谷派大谷婦人会規則一部改正(案)について審議され、全議案が可決されました。

2023年度決算

自 2023年7月1日 ~ 至 2024年6月30日

収入総額 27,325,713円

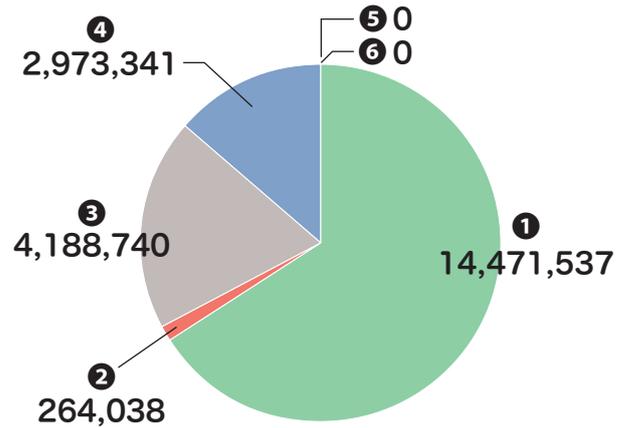


収入

- ①年会費: 会員一人700円
- ②冥加金: 地区間法会、文化交流会等の参加費
- ③懇志金: 有功章懇志、諸懇志、永代経懇志
- ④記章礼金: 会員略肩衣・念珠・バッグ、記章
- ⑤花すみれ購読料: 『花すみれ』の購読料
- ⑥教化誌購読料: 『やさしい法話シリーズ』の購読料
- ⑦雑収入: 預金利息、グッズ販売、『花すみれ』広告料等
- ⑧繰越金

※2023年度に限り⑥には
日めくりカレンダーの売り上げ額を含む

支出総額 21,897,656円



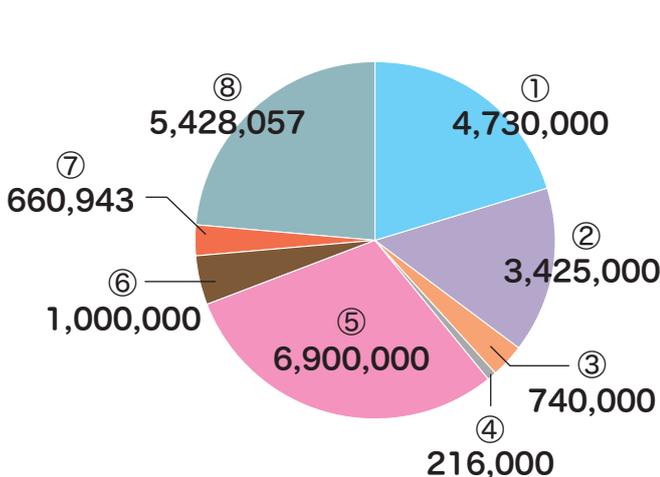
支出

- ①法要・教化・文書伝道費: 地区間法会、文化交流会、支部巡回講師派遣、定例法話、法要・荘厳費、ブロック別支部長会、すみれ会、『花すみれ』、『やさしい法話シリーズ』、『通信すみれ』等に係る経費
- ②奨励費: 支部の設立や活動への助成金、会員略肩衣、念珠、バッグの調製等に係る経費
- ③会議費: 委員会、委員協議会、常任委員会等に係る経費
- ④諸費: 人件費、保険料、事務通信費、慶弔費、公租公課、業務委託等に係る経費
- ⑤回付金: 特別事業積立金へ回付
- ⑥予備費

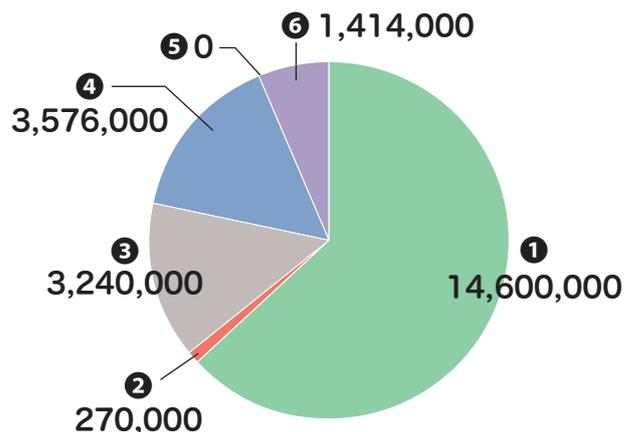
2024年度予算

自 2024年7月1日 ~ 至 2025年6月30日

収入総額 23,100,000円



支出総額 23,100,000円



2024年 奥能登豪雨被害お見舞い

9月21日に発生した「奥能登豪雨災害」で被災された多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。

元旦に能登半島地震で甚大な被害を受けられた輪島市や珠洲市の皆様におかれましては、復興に向けた取り組みが続く中で豪雨被害となり、多大な困難と混乱をもたらしていることと存じます。

大谷婦人会といたしまして、引き続き一日も早く会員の皆様が安心して過ごせる日常が戻ることを願い、支援を行ってまいります。



能登からのたより「奥能登へ支援に行こう!」

全国の支部、会員のみなさまから集めていただいた義援金を大谷婦人会より被災教区の支部お見舞金として、私たち能登第一組支部もいただきました。我々の支部は、半島の付け根にあたる地域で奥能登に比べれば被害も少なく、それであれば、いただいたお見舞金を活用して、奥能登へ支援に行こう!と役員会で話がまとまりました。2024年4月の全国大会に来られていた、珠洲焼の第一人者である篠原敬さん(珠洲市出身)が「被災地を見に来て下さい」と言われた言葉を頼りに、法話と体操指導のできる元尾教恵先生(羽咋郡・志賀支部)にお願いして、被災地応援「^{もとのおのりえ}こころとからだの健康」プログラムを企画し、支部会員の皆さんの協力と参加のもと会場のある現地に向かいました。

当日の楽しい元尾先生のトークに笑いもあり、頑張っ手足を動かす皆さんと共に運動をして、その後お茶とお菓子で交流し、被災地での今の生活のお話を聞きました。皆さん大変な毎日なのに、明るく元気なのは驚きました。

支部の皆さんは車窓から被災地の町並みを見てはため息、ため息の連続でした。そして現地のお店で買い物をして帰路に着きました。

聞法・体操・笑い、被災地の皆さんは少しでも前を向きたくて、元気を取り戻す手立てを求めているのではないかと感じました。

能登第一組支部支部長 末森昌代

能登教区 第10組 乗光寺 (珠洲市飯田町)【2024/8/5】



元尾教恵先生のお話



体操の後の交流会。
乗光寺ポランディア特製弁当に舌づつみ

応急仮設住宅「蛸島町第4団地集会所」 (珠洲市蛸島町)【2024/8/23】



元尾教恵先生のお話



体操の後、お茶とお菓子で交流会。
いろいろなお話が聞けました。

能登教区 第11組 専念寺 (七尾市大泊町)【2024/9/13】



タオルを使った体操



お茶とお菓子の交流会

災害義援金のお願い

このたびの能登半島地震では、全国の会員の皆さまよりたくさんの義援金をお送りいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

皆さまからいただきました義援金は、被災地へとお送りしました。

大谷婦人会では、引き続き義援金を募り、能登に限らず、災害に見舞われた被災地へ支援をしてまいります。

下記口座宛に義援金のご協力を賜りますよう、皆さまからの温かいご支援をお願い申し上げます。

【義援金口座】

郵便振替口座番号 00950-3-209979

【加入者名】

真宗大谷派大谷婦人会 災害義援金

編集後記

(滋野井京子副委員長)

被災地より「今こそお念仏を」と力強いお声をいただいた。聴聞し続けるしかない私に気づかせていただく。大谷婦人会の僧伽とともに。

私たちの宗旨

【宗旨】浄土真宗 【本尊】阿弥陀如来 【正依の經典】仏説無量寿經(大經)・仏説觀無量寿經(觀經)・仏説阿弥陀經(小經)

【宗祖】親鸞聖人【宗祖の主著】顕浄土真実教行証文類(教行信証) 【宗派名】真宗大谷派 【本山】真宗本廟(東本願寺)

【所在地】京都市下京区烏丸通七条上る常葉町七五四番地